

「人生会議」市民アンケート集計結果

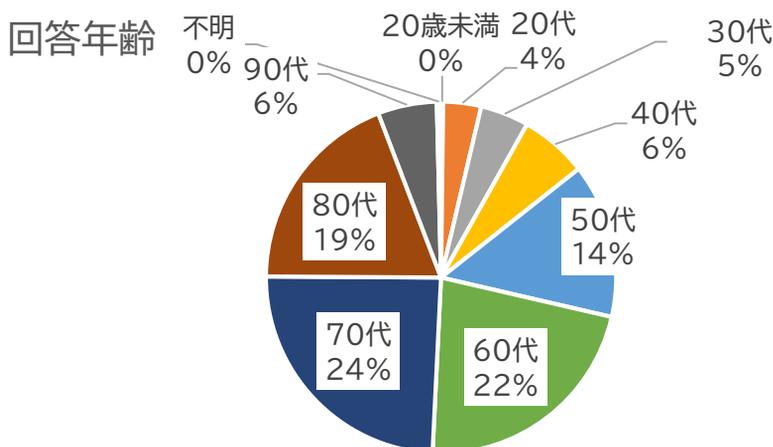
実施期間: 令和3年7月19日~12月3日

514名の方にご回答をいただきました。
ありがとうございました！！

実施の目的

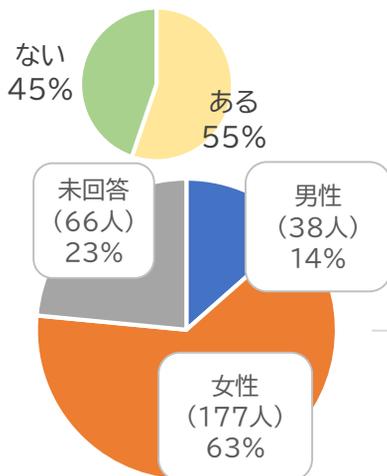
- (1) 市民の方の人生会議(ACP)に関する意識・意向を調査する
- (2) アンケートをきっかけに自分自身で考え、人生会議(ACP)を始める機会とする

20歳未満	1
20代	18
30代	23
40代	32
50代	73
60代	114
70代	125
80代	98
90代	28
不明	2
合計(人)	514

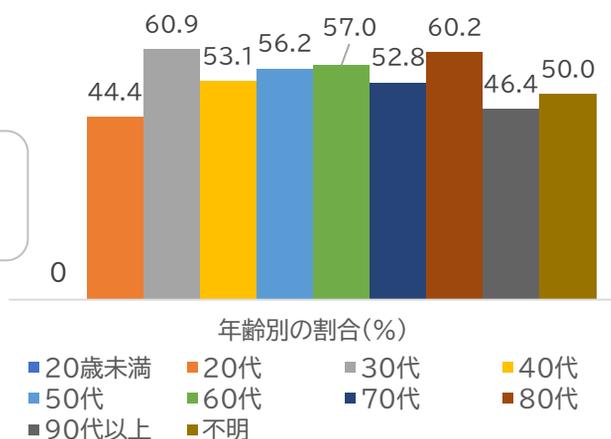


【質問】ご自身や家族の“もしもの時”についてお話しをされたことがありますか。

ある	ない
284	230



年齢	話をしたことがある人
20歳未満	0
20代	8
30代	14
40代	17
50代	41
60代	65
70代	66
80代	59
90代以上	13
不明	1
合計	284

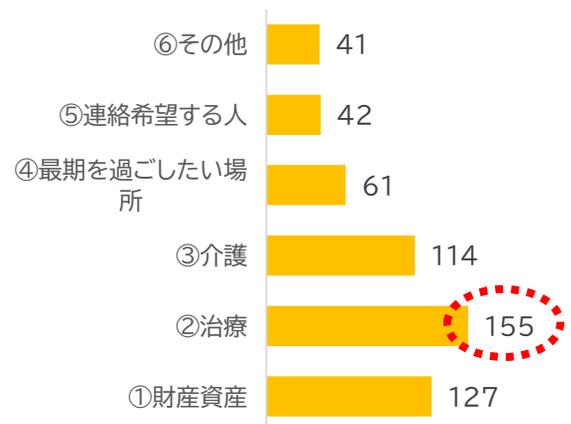


人生会議のご経験・・・約55%の方が「有る」

命に関わるような“もしもの時”について考え、家族等と話した経験について問うと、少しの差ですが、「話したことがある」と回答した方が多い結果となりました。

【質問】ご家族で“もしもの時”についてお話をされた方にお聞きます。
 どんな内容についてお話しをされたことがありますか。(複数回答可)

年齢	①財産資産	②治療	③介護	④最期を過ごしたい場所	⑤連絡希望する人	⑥その他
20歳未満	0	0	0	0	0	0
20代	0	5	1	0	0	2
30代	7	3	4	3	2	4
40代	5	12	4	4	0	5
50代	22	25	17	11	6	3
60代	25	43	23	13	3	6
70代	31	32	29	11	9	13
80代	31	28	27	11	21	6
90代以上	6	7	8	8	1	2
	127	155	113	61	42	41



人生会議のご経験・・・「治療」について考えたり話した方が多い

話した内容については、複数選択の回答ですが、①治療②財産・資産③介護が多いという結果でした。
 年代別の傾向をみると、50代から「介護」について話す方が増加しており、ご自身や親の介護について実際に考える年代となっているのではないかと考えられました。また、今回のアンケート結果で目立っていたのは、「もしもの時に連絡を希望する人」について話す方が、80代で急増していたことでした。

お話をされた方で、「⑥その他」と回答された方のご意見

年代	意見
20代	パートナーが亡くなったあとのこと
30代	棺に入れてほしいもの／亡くなった時に着たい衣装／スマホのパスワード／臓器提供／葬儀／お墓や仏壇
40代	父や母のもしもの時／互いの実家のこと／妻や子どものその後の人生について
50代	葬儀／散骨の希望など
60代	老後の過ごし方／自分が大切にしているもの／パスワード／預金口座／インターネット関連のID等／葬儀
70代	重要な書類のある場所／逃げる場所／お墓／エンディングノート作成中／葬儀／相続／施設入所
80代	ノート作成中／ぼちぼち何か残そうと思う／お墓
90代	ノート作成中／その時によって違うことを考えたり話している

自分の“もしもの時”の“その先”を考えている方も多い

残された時間を「どう過ごしたいか」、「どのような治療やケアを望むか」という希望に加え、亡くなって話せなくなったあとの「その先」について今からお話をされている方が一定数いらっしゃることがわかりました。

また、70代からの回答では、「エンディングノートを作成中」という方も一定数ありました。エンディングノートは、豊富な種類や内容があり、ノートにそって記入することで、「もしもの時」に備えて考えておくべきことについて、様々な観点から記しておくことができる良さや、自分自身と向き合いながらじっくり考えて書くことができるという良さがあります。『想いは、その時々で何度も変わる可能性がある』ので、ノートに書いておくだけでなく、『繰り返し考えたり話しておくことの大切さ』や、また、『突然訪れるかもしれない“もしもの時”に、自分に代わって重大な選択をする可能性のある家族のためにも、自分の想いや希望をあらかじめ周囲に伝えておく大切さ』についてもお伝えしていきたいです。

【質問】“もしもの時”についてお話をされたことのない方にお聞きします。
お話をされたことのない理由について教えてください。(複数回答可)

年齢	①話すことを考えたことがなかった	②辛いので考えたくない	③相手が聞いてくれるか心配	④縁起でもない	⑤ノートに書き留めている	⑥その他
20歳未満	1	0	0	0	0	0
20代	9	1	0	1	0	2
30代	4	1	1	1	0	2
40代	9	3	1	5	0	1
50代	18	6	4	4	0	6
60代	24	5	10	6	4	8
70代	18	8	16	5	3	13
80代	10	7	9	7	5	9
90代以上	5	3	5	2	1	3
	98	34	46	31	13	44



「話すことを考えたことがない」と「相手が聞いてくれるかどうか」と迷う方が多い

命に関わるような話をする事自体を考えたことがなかったと回答された方が、90代以上を除いて一番多いという結果でした。一方で、「相手が聞いてくれるか心配」、「その他」が多い結果から、色々な思いを持ちながら過ごされている方が多いとわかりました。

まだお話をされたことのない方で「⑥その他」と回答された方の意見

年代	意見
20代	なんとなくわかるから。／話さないとね、とは言っているが、なかなか時間がとれない。
30代	法律が変わると相続が変わるかもしれない、今考えるメリットを感じない。／相手が話そうとしない。
40代	話したい気持ちはあるが、縁起でもないと思われ、気を悪くしないか心配。
50代	話す予定はあるが、まだ早いかなと思う。／そろそろ話そうかと思っているところ。／まだ自分や家族は大病を患うことがなかったので実感がわからない。／延命治療は望まないという話題を夫婦でしたことはある。
60代	まだ若いと思いきり今まではしていないが、これから始める。／家族が都会に出ていて全員が揃うことがないから。／心に秘めて準備している。／一人暮らしなので以前に遺言書を書いているが、近々見直して再度書くことを考えている。／もう少し早い。／そろそろ話をしようと思う。エンディングノートも用意する予定です。／話したいが相手に時間がない様子。
70代	話してみようと思うが、コロナの為息子たちと会えていないので機会がとれない。／今のところ別に話すこともない。／思いはあるがまだ具体的に話していない。でも考えなければと思っている。／遠くにいるため時間がない。
80代	今まで元気で過ごしていたから。／家のことは息子に任せてある。／その時にならないとわからない。／親の死について聞きたくないそぶりをみて話ことをやめました。今ノートに記すことを考えています。／その時はその時でなんとかするだろうと考えている。
90代	自分の思いはすでに伝えてある。家のことも引き継いでもらっている。／話してみようと思っているが、機会をみえています。

「話したい思いはあるがまだ話していない方」も多い

時間が取れなかったり、家族で集まる機会がないことで話せない方や、相手に遠慮してまだ心に秘めており、『話す予定はしている段階』という方も一定数いらっしゃることがわかりました。

今後、より多くの方に、「あらかじめ何度も話す大切さ」を伝えていき、“もしもの時”の話を“縁起でもない”と遠慮しないような地域になればいいなと考えました。